

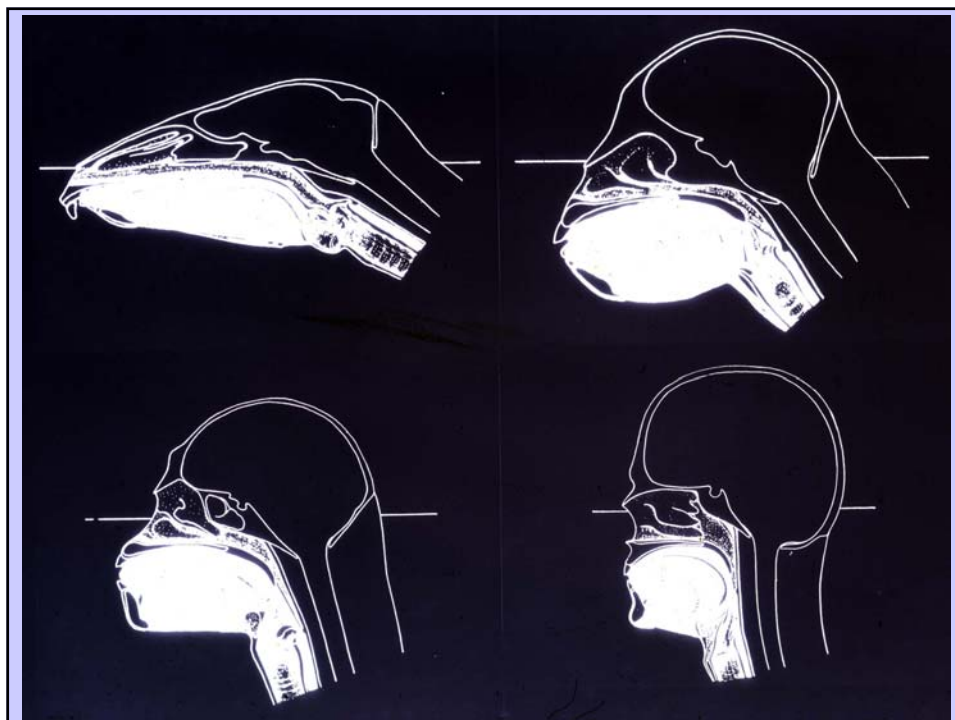
食品による窒息事故の発生状況等について
(平林専門参考人)

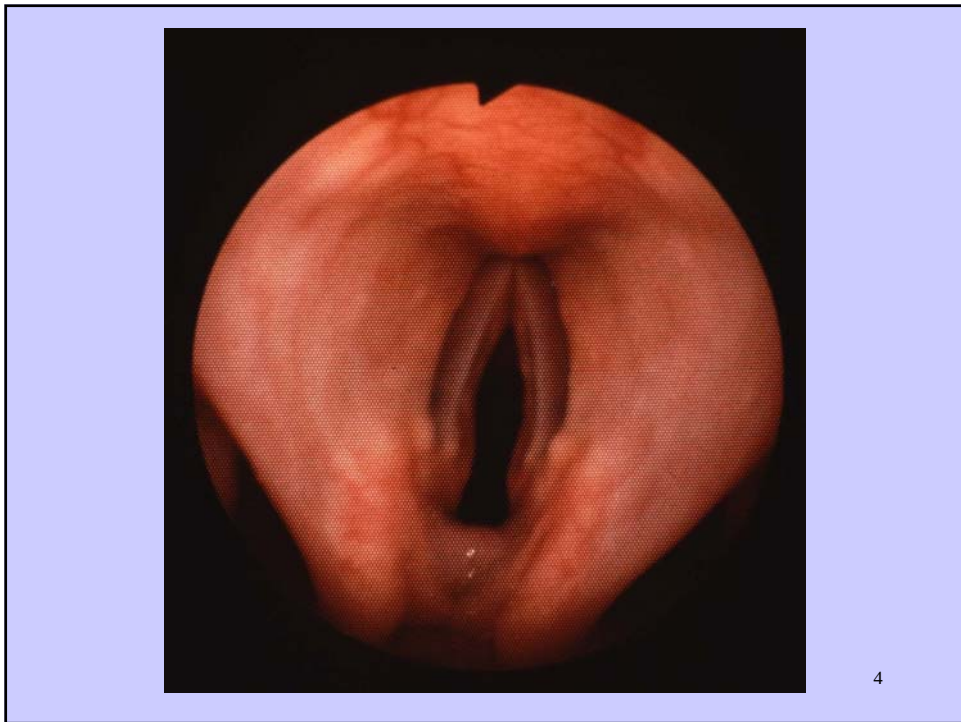
気道異物

獨協医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科

平林 秀樹

1





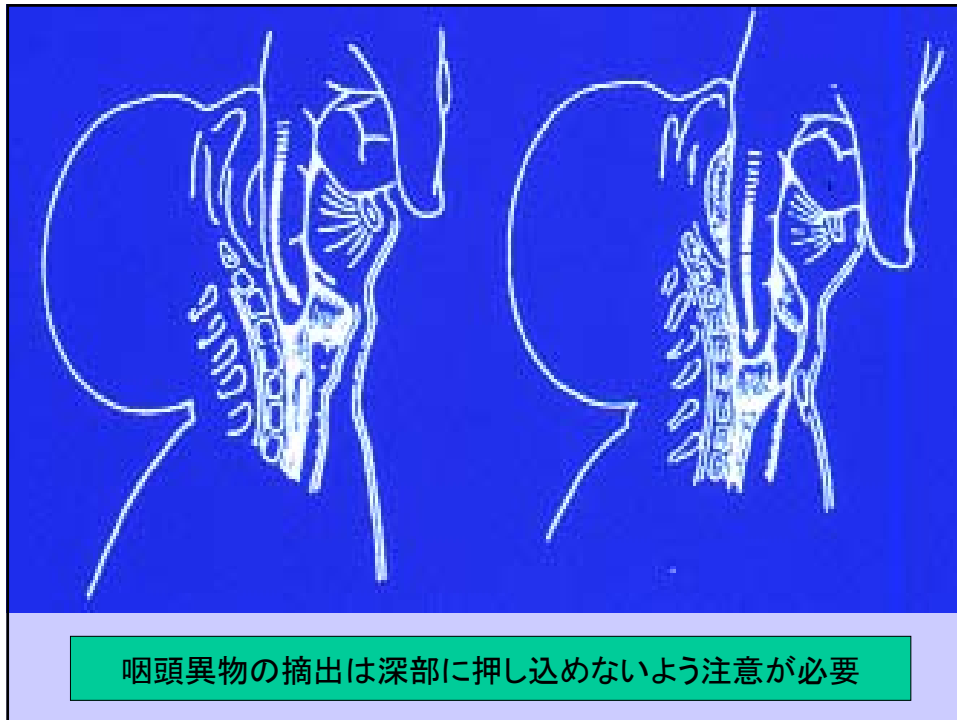


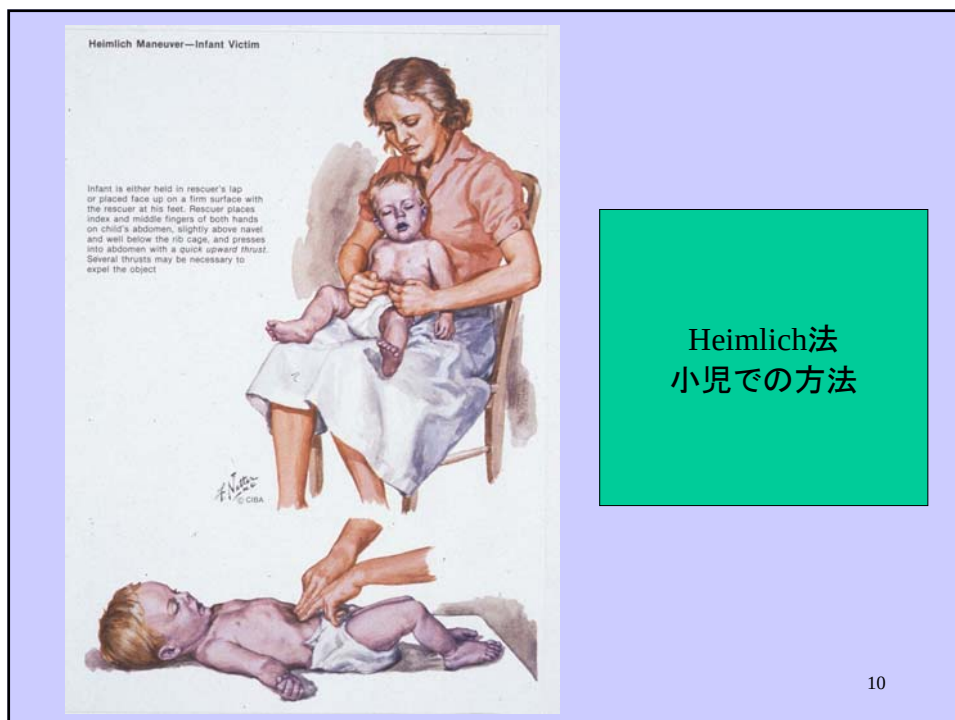
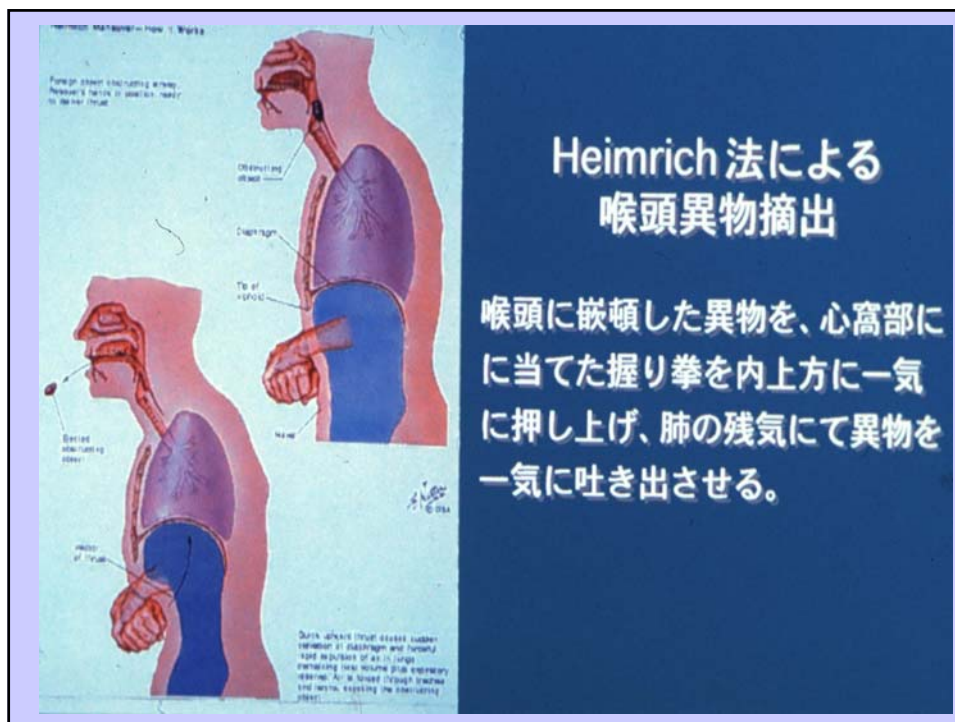
異物誤嚥の現場 生後8ヶ月の娘



何でも口に入れてしまう

いきなり怒るとひっくり返る





11月14日
朝日新聞

ポケモン商品

「息子窒息死」

米で両親賠償提訴

【ニューヨーク12日＝山中季広】人気アニメ「ポケットモンスター」関連商品のボールを七歳児がのどに詰まらせて死亡したとして、米ニューヨーク州に住む両親が十二日、一億ドル（約百五億円）の賠償を製造販売元に求める訴訟を連邦地裁に起こした。

問題とされたのは、ポケモン・パワー・バウンサーという商品名のゴムボール。会見した両親によると、男児は今年一月、中に埋め込まれているキャラクターを取り出そうとボールをかんんでいるうち窒息死したという。ボールの直径は四センチ。

両親は製造元のハスブロと小売チェーン店のトイザラスを訴えた。

姉 9歳 身長135 cm



妹 5歳 身長100 cm



DOKKYO Univ. School of Med.

- 2歳の時にカプセル型玩具の通称「ガチャポン」のケースをのどに詰まらせ、後遺障害で寝たきり状態になったとして、鹿児島市の男児(8)と両親が、製造物責任法に基づき玩具メーカー「バンダイナムコゲームス」(東京)に計約1億700万円の損害賠償を求めた訴訟の判決で、鹿児島地裁は、「設計上、安全性に欠陥があった」として、約2600万円の支払いを命じた。
 判決理由は、監督を怠った両親の過失を認める一方で、直径約4センチのカプセルの大きさや形状について「球形なので飲み込みやすく、3歳前後の幼児の口に入って窒息を起こす危険性があった」と判断。「玩具の大きさは国際的な安全基準を満たし、のどを通過しないよう設計した」とする会社側の主張を退けた。

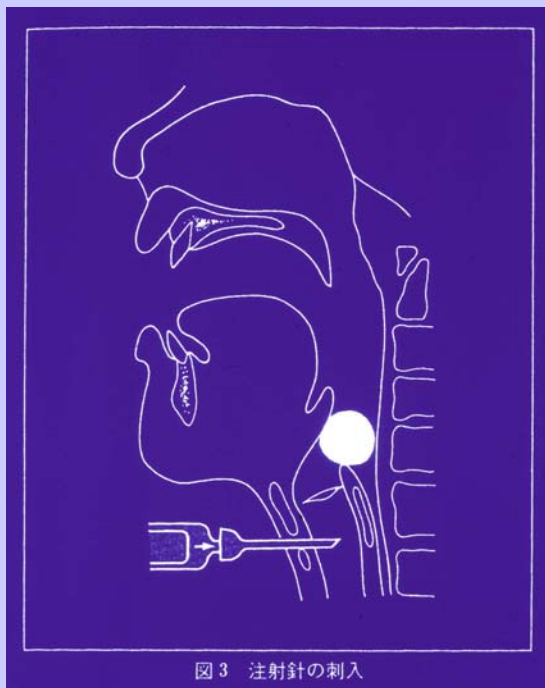


図3 注射針の刺入

緊急気道確保
輪状甲状間膜穿刺術

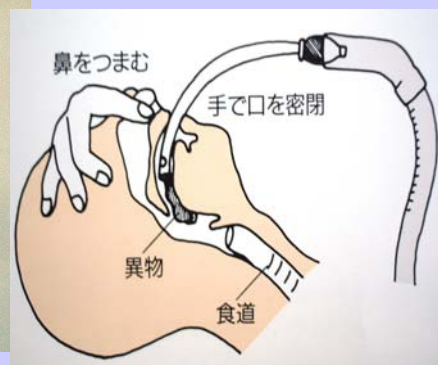


咽頭の餅異物の除去に掃除機先の細が有効

15



異物吸引ノズル





喉頭異物

17





19



摘出されたスパンコール

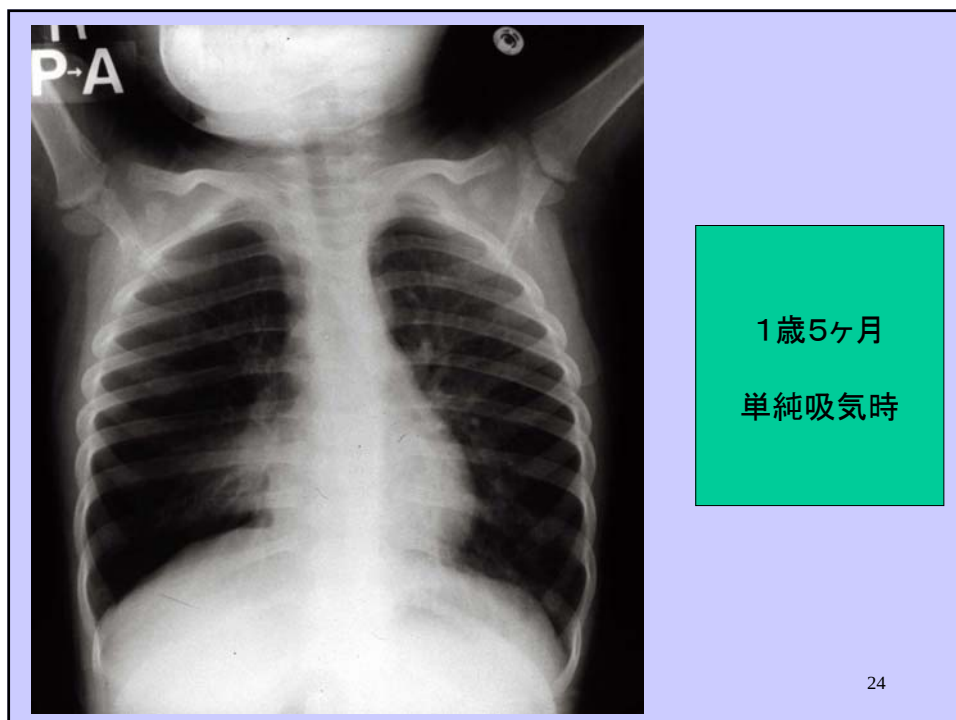
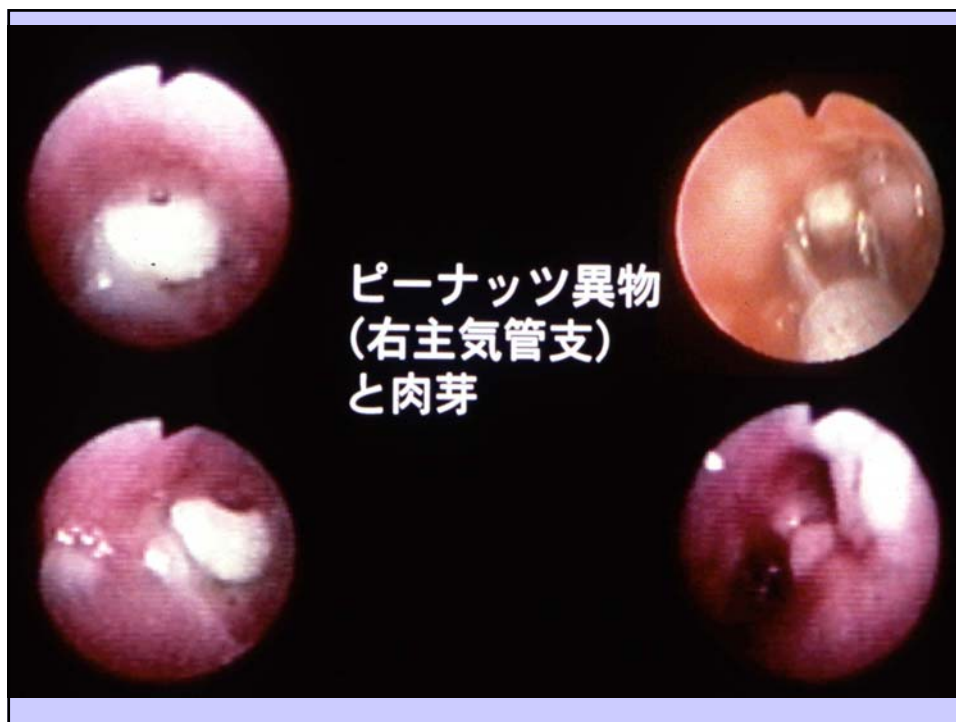
20

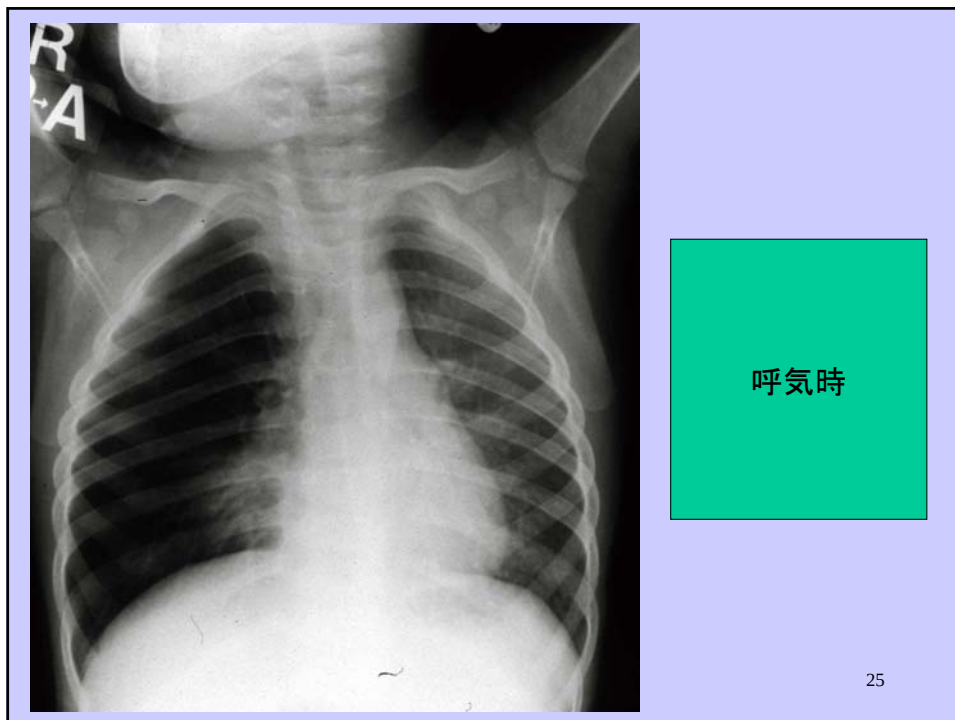


21

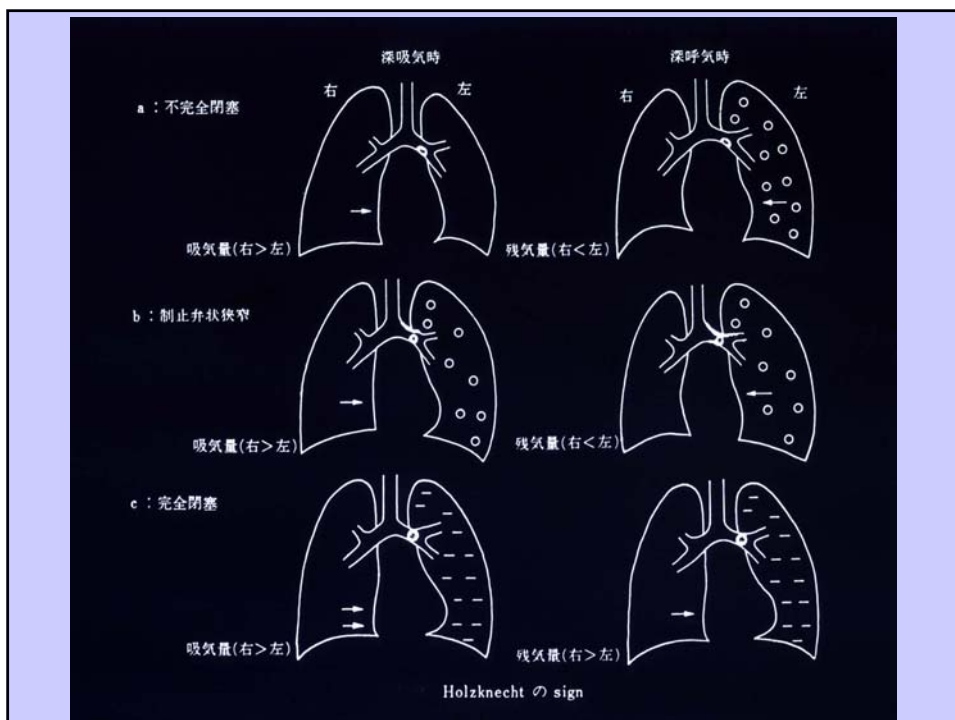


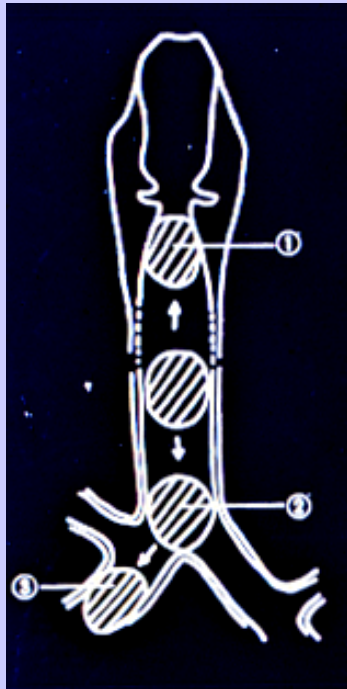
22





25





声門下から気管内の
舞踏性異物が最も危険

たとえピーナッツのかわでさえも
換気不全をおこす

一側の主気管支に
落下させたほうが安全

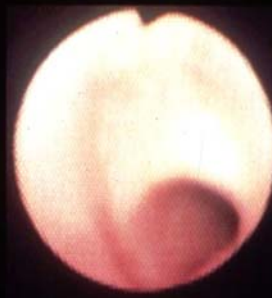


有窓鉗子



29

laryngeal mask airway を用いた 喉頭・気管・気管支の連続観察

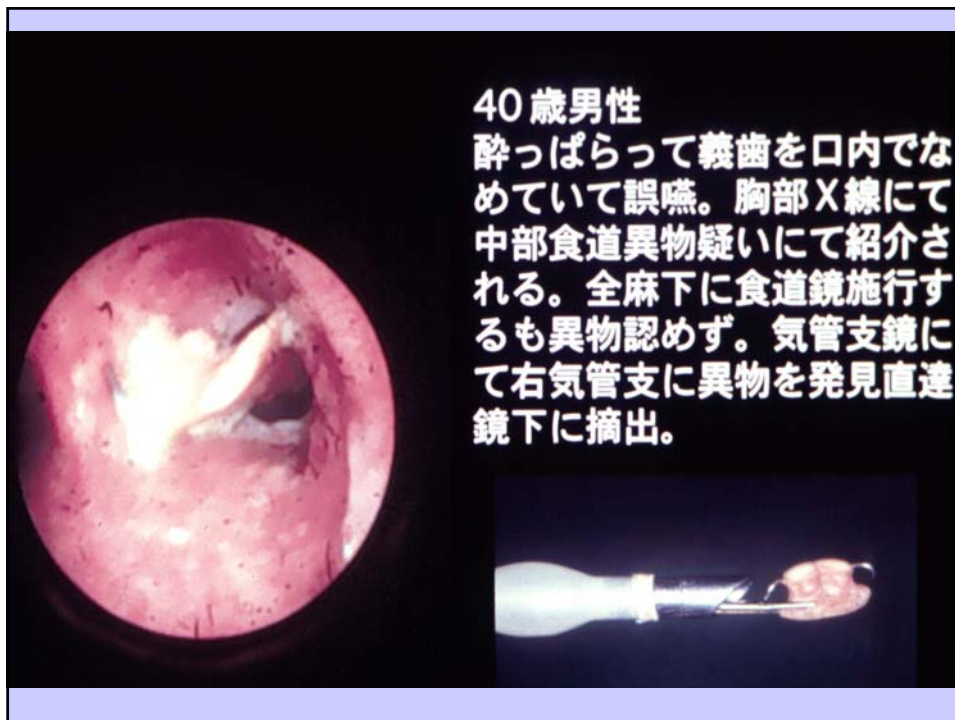




31



1歳7ヶ月男児の右主気管支イナゴ異物



40歳男性

酔っぱらって義歯を口内でなめていて誤嚥。胸部X線にて中部食道異物疑いにて紹介される。全麻下に食道鏡施行するも異物認めず。気管支鏡にて右気管支に異物を発見直達鏡下に摘出。